



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4368 URL <https://fusokk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,135	△23.3	5,581	△41.7	6,245	△41.9	4,287	△43.0
2023年3月期第2四半期	35,359	40.5	9,578	49.1	10,757	65.9	7,516	67.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,472百万円 (△37.1%) 2023年3月期第2四半期 8,704百万円 (84.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	121.64	—
2023年3月期第2四半期	213.26	—

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

2024年3月期第2四半期 8,367百万円 2023年3月期第2四半期 11,624百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	127,659	91,818	71.9	2,604.81
2023年3月期	113,528	87,502	77.1	2,482.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 91,818百万円 2023年3月期 87,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	33.00	63.00
2024年3月期	—	33.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	△11.6	10,950	△42.2	11,550	△41.5	7,900	△44.1	224.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 減価償却前連結営業利益 (連結営業利益+減価償却費)

通期 18,250百万円 (△21.6%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	35,511,000株	2023年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	261,281株	2023年3月期	267,466株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	35,245,012株	2023年3月期2Q	35,243,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) その他	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、欧米ではエネルギー価格を起因としたインフレには一服感があるものの、労働コスト上昇による消費財・サービス価格の上昇圧力が強く、対応した金融引締め政策が継続して行われています。このような環境下で、米国経済は堅調に推移しましたが、欧州経済の低迷は継続しました。中国経済は、コロナ禍からの回復が期待されましたが、不動産市場の低迷等も継続し、緩やかな回復に留まっています。直近では中東情勢の緊迫の課題も加わり、世界経済の先行きは、予断を許さない状況が継続しています。日本経済は、コロナ禍から経済活動の正常化が進み、回復傾向で推移しましたが、円安等による物価の上昇が続き、先行き不透明な状況は継続しています。

当社グループの事業環境は、ライフサイエンス事業の主力製品である果実酸では、国内の食品関連市場において、円安や物価上昇などの影響を受けたものの底堅く推移しましたが、国内外の工業用途の需要は低迷して推移しました。電子材料事業の主力製品である超高純度コロイダルシリカでは、主要市場である半導体市場において、在庫調整は進みつつあるものの、パソコンやスマートフォン等の最終製品の需要の回復には至らず、低迷して推移しました。

このような情勢下、当社グループは成長を維持するため、営業活動を強化し、顧客やユーザーとのコミュニケーションを深め拡販に努めました。また、完成した新規設備の早期立上げを進めるとともに、既存設備の維持・強化を継続し、供給力の拡大を図っています。さらに、研究開発体制を強化し、新製品開発の取り組みも継続しています。加えて、本社移転等による就業環境の改善や社内体制の整備等を推進し、経営基盤の一層の強化にも取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,135百万円（前年同期比23.3%減、8,224百万円減）となりました。営業利益は5,581百万円（同41.7%減、3,997百万円減）、経常利益は6,245百万円（同41.9%減、4,511百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,287百万円（同43.0%減、3,228百万円減）となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により減収減益となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差益が減少したことにより、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少に加え、投資有価証券売却益の減少、固定資産除却損の増加により、減益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が16,978百万円（前年同期比12.4%減、2,399百万円減）、営業利益は3,276百万円（同2.1%減、71百万円減）となりました。

国内食品用途は底堅く推移しているものの、工業用途の需要落ち込みが想定より長期化しています。海外市場は、特に欧州経済の低迷の影響が顕在化し需要が大きく落ち込んで推移し、リンゴ酸の海外売上高が影響を受け減少しました。円安による売上高増加の効果はあるものの、コロナ禍の物流の混乱による世界的な在庫増加の反動の影響もあり、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益も継続して取り組んでいる販売価格の改定の効果はあるものの、新設備の稼働による減価償却費の増加、売上高減少の影響により、前四半期連結累計期間を下回り、減収減益となりました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が10,156百万円（前年同期比36.4%減、5,825百万円減）、営業利益は3,330百万円（同53.4%減、3,818百万円減）となりました。

半導体市場の低迷が想定より大きく長期化しています。主力製品である超高純度コロイダルシリカの売上高は、コストアップ要因に対する販売価格改定や円安効果などの増加要因はありますが、低迷する半導体市場の影響を受け、前四半期連結累計期間を下回りました。在宅勤務の普及によるトナー需要減退の影響を受けていたナノパウダーの売上高は増加しましたが、セグメント全体の売上高は、前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益も、円安の効果はあるものの、売上高の減少に加え、鹿島事業所の新設備の本稼働に伴う減価償却費や立ち上げに係る費用の増加、エネルギー価格の上昇、稼働率低下によるコストアップの影響もあり、前四半期連結累計期間を下回り減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14,130百万円増加し、127,659百万円となりました。これは主に、現金及び預金、商品及び製品が増加したためです。

負債は、前連結会計年度末に比べ9,814百万円増加し、35,840百万円となりました。これは主に、設備関係未払

金、未払法人税等が減少しましたが、長期借入金が増加したためです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,316百万円増加し、91,818百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加に加えて、円安により為替換算調整勘定が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年9月15日の「業績予想修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) その他

(重要な設備の新設等)

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等のうち、当第2四半期連結累計期間に完了したものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資額		資金調達 方法	着手 (年月)	完了 (年月)
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	19,776 (注) 2	17,803 (注) 1	自己資金	2021年8月	2023年4月 (注) 3

また、当第2四半期連結累計期間に変更があったものは次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
扶桑化学工業(株) 京都事業所 (京都府福知山市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	10,000	3,398	自己資金	2022年8月	2024年4月
扶桑化学工業(株) 鹿島事業所 (茨城県神栖市)	電子材料および機能性 化学品事業	超高純度コロイダルシリカ 製造設備および付帯設備	20,000	6,149 (注) 1	借入金	2023年9月	2025年7月

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 当初予定総額18,000百万円から変更しています。

3. 製造設備は2023年4月に完成し、2023年8月より本稼働を開始しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,412,586	29,384,628
受取手形及び売掛金	14,968,781	14,838,788
商品及び製品	11,880,482	14,682,344
仕掛品	691,534	667,829
原材料及び貯蔵品	3,468,641	3,961,945
その他	936,534	2,786,832
貸倒引当金	△14,513	△13,411
流動資産合計	55,344,047	66,308,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,418,074	15,652,556
機械装置及び運搬具（純額）	6,240,614	16,615,714
土地	6,913,458	6,928,622
建設仮勘定	30,938,084	15,130,767
その他（純額）	791,270	969,189
有形固定資産合計	54,301,501	55,296,850
無形固定資産	1,346,426	3,513,556
投資その他の資産		
投資有価証券	691,304	787,993
長期前払費用	366,419	303,137
繰延税金資産	1,173,700	1,044,594
退職給付に係る資産	102,262	87,085
その他	203,209	317,317
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,536,896	2,540,127
固定資産合計	58,184,824	61,350,534
資産合計	113,528,872	127,659,492

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,294,849	3,291,187
未払金	1,983,822	1,815,276
設備関係未払金	13,775,370	5,570,689
未払法人税等	3,301,849	1,554,158
賞与引当金	690,054	584,209
役員賞与引当金	71,800	44,840
修繕引当金	356,024	144,423
その他	434,899	664,800
流動負債合計	23,908,669	13,669,585
固定負債		
長期借入金	—	20,000,000
繰延税金負債	191,191	205,366
退職給付に係る負債	1,624,715	1,676,462
長期設備関係未払金	167,408	160,022
資産除去債務	27,974	27,974
その他	106,088	101,249
固定負債合計	2,117,377	22,171,075
負債合計	26,026,047	35,840,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	76,183,899	79,288,994
自己株式	△1,112,711	△1,086,997
株主資本合計	84,225,957	87,356,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,739	237,569
繰延ヘッジ損益	△3,019	5,909
為替換算調整勘定	3,091,146	4,218,585
その他の包括利益累計額合計	3,276,866	4,462,064
純資産合計	87,502,824	91,818,832
負債純資産合計	113,528,872	127,659,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	35,359,319	27,135,141
売上原価	21,066,444	16,814,953
売上総利益	14,292,874	10,320,188
販売費及び一般管理費	4,714,317	4,739,128
営業利益	9,578,556	5,581,060
営業外収益		
受取利息	25,606	126,560
受取配当金	13,215	6,404
為替差益	1,122,723	586,497
その他	23,089	18,615
営業外収益合計	1,184,635	738,078
営業外費用		
支払利息	—	55,737
支払手数料	1,769	—
減価償却費	1,767	573
投資事業組合運用損	1,714	15,547
その他	406	1,319
営業外費用合計	5,658	73,178
経常利益	10,757,534	6,245,960
特別利益		
固定資産売却益	—	1,597
投資有価証券売却益	84,121	12,100
特別利益合計	84,121	13,697
特別損失		
固定資産除却損	19,489	51,856
特別損失合計	19,489	51,856
税金等調整前四半期純利益	10,822,166	6,207,801
法人税、住民税及び事業税	3,251,619	1,827,070
法人税等調整額	54,405	93,492
法人税等合計	3,306,024	1,920,563
四半期純利益	7,516,141	4,287,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,516,141	4,287,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,516,141	4,287,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106,112	48,830
繰延ヘッジ損益	△2,838	8,928
為替換算調整勘定	1,297,319	1,127,439
その他の包括利益合計	1,188,368	1,185,197
四半期包括利益	8,704,510	5,472,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,704,510	5,472,436
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,822,166	6,207,801
減価償却費	2,046,170	2,785,973
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,279	△2,501
賞与引当金の増減額（△は減少）	52,859	△108,837
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,600	△26,960
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	53,231	66,747
修繕引当金の増減額（△は減少）	△204,097	△211,600
受取利息及び受取配当金	△38,822	△132,965
支払利息	—	55,737
為替差損益（△は益）	△796,974	△497,195
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△1,597
固定資産除却損	19,489	51,856
投資有価証券売却損益（△は益）	△84,121	△12,100
投資事業組合運用損益（△は益）	1,714	15,547
売上債権の増減額（△は増加）	△1,000,846	368,095
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,660,655	△2,988,199
仕入債務の増減額（△は減少）	△231,818	△72,638
未払金の増減額（△は減少）	△243,419	△198,984
その他	12,703	△1,740,564
小計	8,744,699	3,557,614
利息及び配当金の受取額	32,956	126,709
利息の支払額	—	△37,573
法人税等の支払額	△3,488,601	△3,527,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,289,053	119,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△812,565	△1,825,593
定期預金の払戻による収入	562,330	649,473
有価証券の売却による収入	135,453	—
有形固定資産の取得による支出	△8,467,796	△11,135,072
有形固定資産の売却による収入	—	1,597
無形固定資産の取得による支出	△155,055	△2,574,812
投資有価証券の取得による支出	△6,690	△52,790
投資有価証券の売却による収入	118,911	22,994
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	△12,586	△139,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,637,998	△15,054,040
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	20,000,000
自己株式の取得による支出	—	△495
配当金の支払額	△1,057,227	△1,162,587
リース債務の返済による支出	△4,786	△5,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,062,014	18,831,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,219,665	781,287
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,191,293	4,678,387
現金及び現金同等物の期首残高	23,460,102	22,350,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,268,808	27,029,259

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,377,492	15,981,826	35,359,319	—	35,359,319
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,377,492	15,981,826	35,359,319	—	35,359,319
セグメント利益	3,348,024	7,149,238	10,497,263	△918,707	9,578,556
減価償却費	706,283	1,281,517	1,987,800	58,369	2,046,170

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△918,707千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,978,408	10,156,732	27,135,141	—	27,135,141
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,978,408	10,156,732	27,135,141	—	27,135,141
セグメント利益	3,276,871	3,330,374	6,607,245	△1,026,185	5,581,060
減価償却費	760,110	1,933,930	2,694,040	91,932	2,785,973

(注) 1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△1,026,185千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。